

## 令和4年度学校評価報告書

令和5年3月30日

北海道教育委員会教育長 様

北海道伊達開来高等学校長 相馬利幸 印

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

- |   |
|---|
| (1) 探究的な学習活動の実践<br>(2) 安全に安心して活動できる教育環境の整備<br>(3) 地域の期待に応える社会に開かれた教育活動の展開 |
|---|

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究的な学習活動を推進するために、地域の企業や団体、大学や専門学校と連携し、講演等を行った。</li> <li>生徒の学力の向上のために授業改善及び観点別評価をさらに効果的に推進していく。</li> </ul>	○生徒の理解力が向上するような有効手段を一層推進するなどのご助言をいただいた。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部教育力をより充実させ、シラバスを活用し教科横断的に活用出来るよう推進していく。生徒が主体的に考え活動する授業について引き続き研修を行う。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導に関する指導について、各年次ごとにばらつきがあった。</li> <li>複数担任制や教育相談週間を設け生徒の把握に努めた。</li> </ul>	○長期欠席の生徒については、担任だけでなく、組織的な対応等のご助言をいただいた。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導ガイドラインを活用して統一した指導が出来るよう確認する。</li> <li>長期欠席生徒に対して、情報共有を図り組織的に対応していく。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に関する講話やガイダンスについて多く行われたが、実施時期や内容の見直しが必要である。</li> <li>代ゼミサテライン講習について、3年次の受験対策として充実させる必要がある。</li> </ul>	○生徒の可能性を十分生かし、不安無く進路選択が出来るようバックアップが必要であるとのご助言をいただいた。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路ガイダンス等について、早い段階から進路を意識させる活動を実施する。</li> <li>サテラインだけでなく、教員による対面講習や自主学習の機会を設ける。</li> </ul>	
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染予防を施した上で学校祭や体育祭を実施したが、自粛明けの行事について検討が必要である。</li> <li>1年次の部活の加入率が減少傾向である。</li> </ul>	○自粛明けの活動について、部活その他の活動について活発に取り組めるよう工夫する等ご助言をいただいた。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の内容や日程を検討し、安全かつ充実した行事になるよう計画する。</li> <li>部活動活性化のため、外部講師を招聘するなど、技術の向上を推進する。</li> </ul>	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で多くの行事が中止されたが、保護者等との連携は工夫をして復活させる必要がある。</li> <li>校務分掌の再編成や複数担任制により業務の平準化が図られたが、有効に機能させるための調整が必要である。</li> </ul>	○生徒・教員数の増加により、分掌や年次等と連携を図ることと、地域との連携事業について、推進するようご助言をいただいた。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のため中止となった保護者や地域との連携で、必要ある事業の復活を行う。</li> <li>他学年や分掌との連携を進め、課題解決に必要な方策を共有する。</li> </ul>	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校ホームページ、学校運営協議会</li> </ul>	